

**愛** 知県岡崎市東部の町「本宿」は、1300年以上の歴史があり、江戸時代には、東海道を人とモノが往来し、賑わいを見せていた。ところが今では、西部の市街地に生活便利施設が集中し、東部は大きく取り残されている。そんな中、本宿町にある富田病院を中心に岡崎市東部の住民の暮らしやすさと地域の活性化を目指した取り組みが、行政のもと、官民一体となって行われている。

～富田勲の故郷から今、病院とイタリアンレストランの取り組み～

# Okazaki Jazz Street

in 富田病院

岡崎市では、11月に「岡崎ジャズストリート」が開催され、毎年3万人ほどの人々が賑わっている。市街のみならず、本宿町でも「岡崎ジャズストリート in 富田病院」を開催している。特設ステージでのジャズやよさこい、書道パフォーマンスは、多くの地域住民を魅了している。



ジャズコンサート



書道パフォーマンス

# Italian Restaurant

in 旧本宿代官屋敷



築190年の旧代官屋敷が復活

1827年に建造された代官屋敷は、江戸時代後期の武家屋敷をそのまま残しており、かつて、シンセサイザーの先駆者である富田勲氏が少年時代を過ごした場所でもある。地域住民からの要望で令和元年5月に本格「イタリアンレストラン」&「郷土資料展示室」として生まれ変わった。

店内は、当時の柱や芳醇な黒松の香りが人々を引き寄せ、座敷の段差には車椅子リフトが、トイレにはバリアフリーが完備されており、体に不安や障がいのある方にも安心して来ていただける。地元の食材を使った本格イタリアンはもちろんのこと、認知症カフェやコンサート会場等としても利用され、地域交流の場としての復活を願っている。



認知症カフェ



地元の食材を使ったおもてなし

岡崎本宿復興プロジェクト

にぎわい復活の夜明け前